



事業所における自己評価総括表

事業所名	おもちゃ箱なりた			
保護者評価実施期間	2026年1月20日		～	2026年2月7日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数)	10人
従業者評価実施期間	2025年4月1日		～	2026年3月31日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
事業者向け自己評価表作成日	2026年1月30日			

○ 分析結果

	事業所の強みだと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	近隣に公園や遊歩道等外出しやすい環境	なるべく外遊びに出かけている。	継続
2	剣道を始め独自のイベントを行っている	月の予定に組み込み、継続して行っている。	継続
3	スタッフ全員で同じ方向で支援を行っている 利用者1人1人に合わせた支援を行っている	毎日のミーティングで情報を共有。 部活動等の取り入れ。	継続し、個別支援計画書との連携を取る。
4	安全面や衛生面の徹底	清掃や消毒の徹底。研修への参加。	継続し、より一層強化していく。
5	近隣住民の理解がある	挨拶周りや、プライベートの交流がある。	継続

	事業所の弱みだと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋が少ない（狭い） トイレが少ない（1つしかない） バリアフリーでない	クールダウンの部屋が確保出来ない。 環境設備に問題あり。	リフォームや引っ越し検討
2	壁が汚い（傷や穴だらけで補強が間に合わない） 施設内の老朽化	環境設備に問題あり。 壁片が落ち、誤嚥等の心配もある。	リフォームや引っ越し検討
3	駐車場がない（遠い）	施設の駐車場が2台分しかなく、住人駐車場を借りている。 別駐車場まで遠く、徒歩20分かかる。	リフォームや引っ越し検討
4	年齢や障がいの程度等個々に合った玩具や設備が整っていない。	年齢や障がいの程度も様々で、状況に合わせた空間分けや対応が難しい。	個々の成長や発達を吟味し、適切な環境を整える。